FV 3.000.005

東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター

計算機システム利用申請書 別紙１(研究責任者用)

年 月 日

東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター長 殿

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 利用者 | 職名 |  | | フリガナ  氏名 | |  |
|  |
| 国籍 |  | 所属  学科まで詳しく | |  | |
| 居住地 | 〒 電話 内線 | | | | |
| 居住地の滞在期間 | 年　　月　　日　　～　　　年　　月　　日 | | | | |
| 研究責任者 | 職名 |  | | 氏名 | |  |
| 所属 |  | | | | |
| 住所 | 〒 電話 内線 | | | | |

研究責任者が以下の 4 項目に同意し、記名 (テキストの入力) をした場合のみに利用者の使用を許可します。

1. 当センターが発行するユーザー ID は、利用者本人以外には使用させないこと
2. 登録内容に変更が生じた場合は、利用申請書に必要事項と変更事項を記入し速やかに提出すること
3. 核兵器、生物化学兵器、ミサイル等の大量破壊兵器の開発、設計、製造、保管、および使用等の目的に利用しないこと
4. 当センターが上記条項への違反、その他不正使用を検知した場合には、システムの利用を禁止するが、使用者はこれに一切異議を唱えないこと

利用者が上記①～④項目を遵守することを保証します。

また、本申請書の内容に相違ありません。

記名：

説明：大量破壊兵器や生物化学兵器の拡散防止を目的として、国内法、および米国法が、輸出時の管理手順を定めております。これらの法律の下では、当センターのサービスの外国籍の方による利用は輸出とみなされます。これらの法律は輸出の主体者 (ヒトゲノム解析センター) に、輸出される製品の用途や最終需要者 (利用者) の使用目的の確認を求めており、国際的な枠組みで輸出を管理する事を目的としております。よって、当センターではシステムの利用申請の際に、国籍・所属の明記と、用途を学術的用途に限定する誓約をお願いしております。

本紙は、申請者の国籍が、輸出令別表第3及び第4の地域に該当しない場合において、

申請者の使用目的が学術的用途に限定されることを研究責任者が保証することを目的としております。

これにより、当センターにおける最終需要者の使用目的の確認を行います。

輸出管理に関しては以下のURLをご参照ください

https://www.cistec.or.jp/export/yukan\_kiso/anpo\_gaiyou/

センター確認欄 ｜